

令和3年度  
特別展

# 江戸と金沢を結ぶ「板橋」

— 中山道板橋宿を訪れた大名たち —



大名行列絵巻 年未詳【金沢市立玉川図書館近世史料館所蔵】

加賀藩



道中陣笠 江戸時代【石川県立歴史博物館所蔵】

高田藩



関札「榊原達江守宿」江戸時代  
【個人所蔵】(飯田博通家資料)

松代藩



槍箱 十文字・山鳥毛 江戸時代【真田宝物館所蔵】

板橋宿



大名行列絵巻(部分) 年未詳【金沢市立玉川図書館近世史料館所蔵】



木曾街道 板橋之駅 淡斎英泉画 天保6年(1835)【当館所蔵】

令和4年1月22日(土)～3月21日(月祝)

会期

9時30分～17時(入館は16時30分まで)

月曜休館(祝日の場合は閉館し、翌日休館)

※作品保存のため、加賀友禅・江戸手描友禅の作品は会期中に展示替えを行います。

入場料  
無料

※背景画像:【江戸名所図会「板橋駅」天保7年(1836)【当館所蔵】

関連事業

江戸手描友禅体験

講師:寺澤森秋氏

(板橋区登録無形文化財技術保持者)

会場:板橋区立郷土資料館

※詳細は、広報いたばし・当館HPをご覧ください。

※背景画像は、寺澤森秋氏の制作風景

江戸手描友禅訪問着「江戸百景」  
制作年:平成元年(1989) 寺澤森秋作【当館所蔵】

## 板橋区立郷土資料館



〒175-0092 東京都板橋区赤塚5-35-25 TEL 03-5998-0081

HPアドレス <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyodoshiryokan/>

右画像:加賀友禅黒留袖「花語」(部分)  
制作年:平成25年(2013) 毎田健治作  
【毎田染画工芸所蔵】



# ごあいさつ

江戸から金沢までは、信濃の追分宿を經由して北国街道と中山道で結ばれていました。この中山道や北国街道を参勤交代で利用したのは、加賀、越後、信濃等を領国とする大名でした。加賀から江戸へ向かうまでにかかった日数は、平均12泊13日だったといひます。宿場で休憩をとりながら、大名たちは江戸への歩を進めました。

板橋宿は、江戸・日本橋へ向かう前の最後の宿場でした。多くの大名は板橋宿の本陣・脇本陣を利用し、加賀藩は板橋宿平尾に構えた下屋敷で、江戸藩邸にいる家族からの使者や家臣の迎えを受けたり、装束を整えたりしました。板橋宿は、江戸の玄関口としての役割を果たしていたのです。

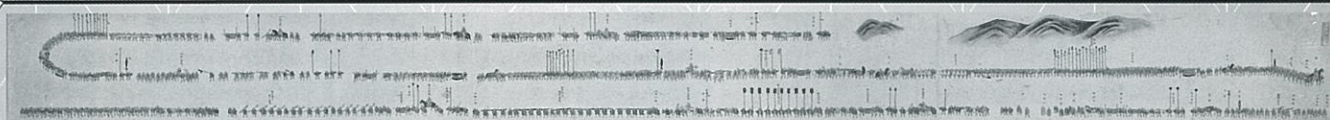
今回の展示では、参勤交代で江戸と国元を往復した加賀藩、高田藩、松代藩の大名たちと、彼らを迎える板橋宿の姿をご紹介します。展示資料を通して、その当時の人びとの様子をご覧いただき、江戸と金沢を結ぶ「架け橋」であった「板橋」に思いを馳せていただく機会となれば幸いです。

最後になりましたが、本展を開催するにあたりご支援・ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

令和4年1月 板橋区立郷土資料館

## 主な展示資料の紹介

### 加賀藩

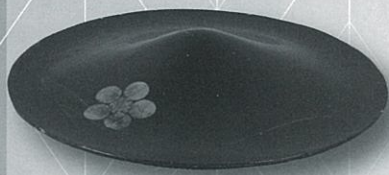


大名行列絵巻 年未詳  
【金沢市立玉川図書館近世史料館所蔵】

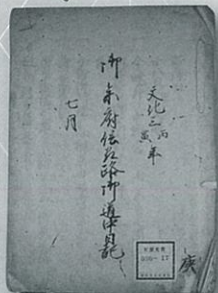
藩主を先頭に加賀藩前田家の行列を描いた絵巻物。本図には、645人が描かれていますが、実際にはより大規模な行列でした。例として文政10年(1827)の参勤の記録を見ると、2019人の編成だったといひます。

道中陣笠 江戸時代  
【石川県立歴史博物館所蔵】

加賀藩前田家の家紋である「剣梅鉢」が金箔で押されています。



### 高田藩



御参府信州路御道中日記  
文化3年(1806)7月  
【上越市立高田図書館所蔵】(榊原家文書)

10代藩主・榊原政敦の時に、参勤で高田から江戸へ向かう際の道中日記。板橋宿に宿泊したこと等が記されています。



関札「榊原遠江守宿」江戸時代  
【個人所蔵】(飯田博通家資料)

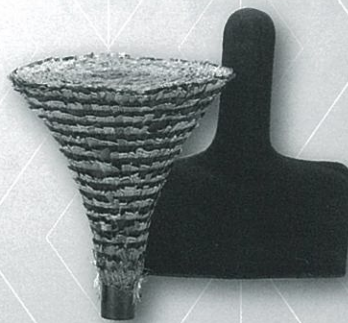
参勤交代で宿場を利用する大名が、宿の入口や本陣・脇本陣に建てた表示札。本資料は、板橋宿の本陣を務めた飯田家に残されていました。

### 松代藩



黒塗金古文字鞍 江戸時代  
【真田宝物館所蔵】

4代藩主・真田信弘所用。真田家の家紋である「六連銭」が金箔で押されています。



檜鞘 十文字・山鳥毛 江戸時代  
【真田宝物館所蔵】

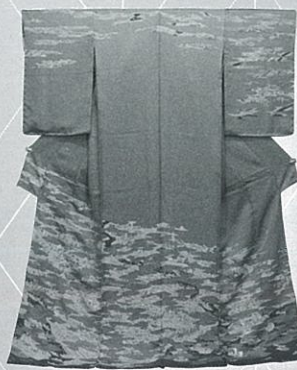
檜は禄高や家格によって行列で使用する位置や形などが決められていました。松代藩では、黒羅紗の十文字と山鳥の羽毛で飾られた檜鞘を用いていました。

### 伝統工芸 友禅染



加賀友禅黒留袖「花謡」  
制作年：平成25年(2013)  
毎田健治作  
【毎田染画工芸所蔵】

加賀友禅は武家文化の中で生まれ、その特色として①絵画調の草花模様であること、②箔や刺繍等による加工がほとんどないこと、③ボカシや虫喰いの技法が多く使われていること等が挙げられます。



江戸手描友禅訪問着「江戸百景」  
制作年：平成元年(1989)  
寺澤森秋作  
【当館所蔵】

江戸手描友禅は町人文化の中で生まれ、その特色として①一見淡く、深みのある色調とデザインであり、粋な風合いであること、②構想図案から下絵・友禅挿し・仕上げに至る工程までを一貫して行うこと等が挙げられます。

※作品保存のため、加賀友禅・江戸手描友禅の作品は会期中に展示替えを行います。